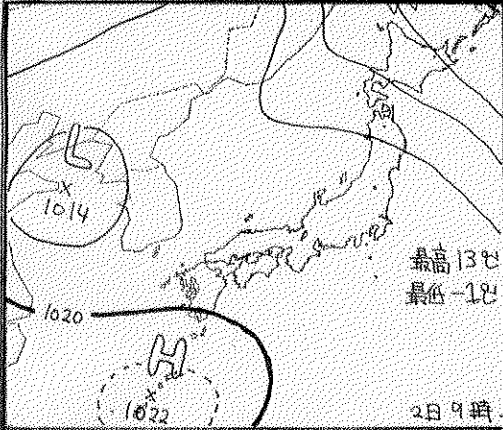


ブルーサーマル編集局
新格納庫3F. 整備研修室
暴露爆笑が随時募集中!

BLUE THERMAL 2008 No.1

担当:
法政大学 2年 大田 和樹
青山学院大学 2年 原 陽介
立命館大学 2回 上河 聡



明日の天気

高気圧の東進により冬型は弱み、今日より圏は弱まります。朝の内は逆巻層が残るかもしれませんが温度差が大きく条件は良いと思えます。圏は午前中以北西風、午後から徐々に南風成分が入ります。



昨年と同様、学生に囲まれ幸せそうに羽根田さん

爆風の開幕

第48回全日本学生グライダー競技選手権大会が開幕した。今年も熊谷めめきグライダーフェスタが開催され多くの来場者を迎え、午前11時過ぎから強い北風が吹き始め、たんだんとその強さを増していった。午後から予定されていた開会式も急速に宿舎内での開催に変更され、体験搭乗も朝の3巻のみとなりました。グライダーを飛ばすどころではなく、フェスタ会場のテントは崩壊寸前、自転車はなぎ倒され、人も立っているのがやとの状況であった。

【開会式】新格納庫3階で行われた開会式では、長い旗の先を天井にぶっつけるのに残りながら、昨年の団体優勝校の名古屋大学、そして個人優勝の立命館大学片岡選手らによる優勝旗返還が行われた。同じ頭文字が続いたためか、名大中村選手を「中村大学...」と読み違う珍事も発生。お笑いにもハッキリとしたその発音には一同笑いを隠すとはできなかった。熊谷地大会実行委員長、高蔵哲也、朝日新聞スポーツライター、井来賢には、富岡清隆熊谷市長、牧野健体滑空協会会長、小林哲也埼玉県議会議員らを迎え、会場は小さくなったものの盛大な式が行われた。(上河)

昨年までの「方向舵」担当の羽根田 三千代さんにインタビューしました。〜

早速本日行われたグライダーフェスタと開会式について伺ってみると、「今まで3年間みてきて、こんな天気になってしまって残念でした」と仰っていました。次に、最近見た変わった出来事を聞いてみると、買い物の100円のおブリがアメリカの25セント玉(クォーターコイン)だった事だそうです。確かに100円に大きすぎるおブリを5名に羽根田さんに見覚えの無い人は、今までの大会で「アキバ系」と書いたジャージを着た人か思い出して下さい。(原)



空機の前に立つ中野さん。ミモアの整備士であり、パイロットでもあるスペシャリスト。

3分の1の奇跡 MINIMO A

可動機は世界に類するのうしろ機を扱う中野さんのインテリ!!
フェスタにてデモフライトを飛ばしたミニモアも、本日は強風のためフライトキャンセル。宿舎前での展示のみとなった。組み立てや機体の取扱いを取り仕切っていた中野信さんにインタビューを行った。
「ASK2とは別の次元の機体。トリムも無ければ重心の幅もとても狭い。高正速度は20km/hで失速速度は50km/hをも下回る。当時としてはとても性能の良い機体。構造は複雑だが、島の形をそのまま真似たという点では理にかなった作りと言える。ただし、木製羽布張りなので保存の際の湿気には気を遣う。しかし、機体をよく知った人が飛ばすと、ちびっこ機を飛ばすよりも飛ばしやすくなる。飛ばせば飛ばすほど、ということもミニモアを通じて知って頂きたい。」と中野さんは語る。